令和4年度

事 業 報 告 書 及び附属明細書

公益財団法人相模原市産業振興財団

1 令和4年度事業実績の概要

(1) 中小企業経営の安定と発展に向けた事業の実施

ア ものづくり企業総合支援事業

財団のコーディネーターが製造業を中心とした市内中小企業を訪問し、経営の状況や課題等の聞き取りを行い、製品・技術開発、販路開拓、海外進出等、事業者が抱える経営課題に対し、必要に応じて専門家も活用しながら、解決に向け支援した。

令和4年度は、補助金を活用した設備投資に関する相談が最も多かった。続いて販路開拓や外注先の探索、事業承継及びM&Aの相談となっている。下期では、人材採用の相談が増加傾向にあった。

訪問・面談活動の概要等

・訪問(面談)企業数
うち新規訪問企業数
延べ面談回数
250社 (前年272社)
61社 (前年47社)
533回 (前年658回)

専門家派遣回数 2社/12回

- ・新たな市場開拓を目指すために必要な設備導入の補助金申請支援
 - ·事業再構築補助金(第6回~第8回) 申請件数 6件、採択件数 4件(採択率67% ※全国平均51%)
 - ・神奈川県ビジネスモデル転換事業費補助金 申請件数15件、採択件数14件(採択率93%)

イ 国内展示会相模原ブース出展事業

市内中小企業の販路開拓及び、相模原市の産業情報発信を目的として、東京ビッグサイトで開催された展示会に相模原ブースを開設し、市内中小企業を取りまとめて共同出展した。

なお、相模原ブースへの3日間の来場者は243名で1日平均81名であった。コロナ禍以前の令和元年度の来場者は433名で1日平均144名であり、ブースへの来場者数は大幅に減少しており、他の展示会への重点化など当事業の見直しを検討した。

展示会名:産業交流展2022

会場:東京ビッグサイト南展示棟、Web開催

開催期間:令和4年10月19日(水)~10月21日(金) 実開催

555社 来場者数:11,951名

令和4年10月12日(水)~11月 4日(金) Web開催 618社 来場者数: 6,051名

出展企業:フィーブリケミカル(株)、(有)平栗、相模螺子(株)、(株)マキシム、 (株)相模ゲージ製作所、アールエスプロ(株)、日本電子工業(株) 計7社





ウ 相模原市トライアル発注認定製品出展事業

相模原市が認定した令和3年度・令和4年度トライアル発注認定製品の販路 開拓支援として、テクニカルショウヨコハマ2023に参加した。

本展への出展について、評価は「良かった」が40%、「どちらともいえない」が60%であった。幅広く製品をPRできる機会と評価する企業がある一方、認定製品によっては本展の来場者層がマッチしないことや、展示スペースの拡大や、自治体等とのマッチング仲介を希望する声等があった。

テクニカルショウヨコハマ2023

会場:パシフィコ横浜展示ホール、Web開催

開催期間:令和5年2月1日(水)~3日(金) 実開催

732社573小間 来場者数:15,827名

令和5年1月10日(火)~2月28日(金) Web開催

759社 アクセス数:8,758

出展企業: 何コムテック、㈱エース・E&L、㈱マーク電子、

アイフォーコム㈱、㈱ユニテックス、Ronk㈱、

(㈱ネットフィールド 計7社





工 九都県市合同商談会

九都県市(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)共催による合同商談会の企画・運営に参画し、より広域的な企業間での販路開拓を支援した。

事業名:九都県市合同商談マッチング2023

開催日:令和5年1月24日(月)

会場:幕張メッセ国際会議場2階コンベンションホール

開催事務局:千葉県

参加企業数:発注側企業 74社(うち相模原市 2社)

受注側企業 190社(うち相模原市14社)

商談回数:507回

才 国内見本市出展助成事業

市内中小企業の販路開拓を支援するため、国内で開催される見本市に出展する際の経費の一部を助成した。

展示会出展企業へのアンケート結果によると、ブースへの立ち寄り件数はコロナ禍以前より減少したが、面談できた企業とは効果的な商談ができたとの回答が多かった。

助成実績

助成企業数:45社(前年29社)

助成金額合計: 4, 249千円 / 1社平均: 94千円 (前年2, 830千円 / 1社平均: 97千円)

力 相模原市制度融資事務事業

市内中小企業に向けた相模原市制度融資に係る事務を受託・実施し、中小企業の円滑な資金調達を支援した。

(ア) 融資申請受付件数

368件

a 景気対策特別資金

273件

b 中小企業信用保険法第2条第5項第5号・7号

95件

(イ)融資残高の照会

1,574件

キ 産学連携事業の推進

大学や公設試等の研究機関との産学連携による研究開発や技術開発を促進するため、共同研究等に必要な費用の一部を補助した。

相模原市産学連携スタート支援補助金制度

交付企業数 : 4 社

交付金額合計:977千円 (1社平均:244千円)

連携する大学:青山学院大学、芝浦工業大学、東京理科大学

ク 商業・サービス業企業活性化事業

・ 市内の商業・サービス業事業者に対して、財団職員の訪問によるヒアリング と販路開拓等の個別経営支援を実施した。

財団職員の個別訪問による販路開拓支援等 10社 (人材派遣2社、卸売2社、サービス2社、他)

・ 給付金事前確認の支援機関として事業復活支援金の申請支援を実施した。 (令和4年1月31日~6月17日)

事業復活支援金 251件:建設業37件、飲食業19件、他

ケ事業承継支援事業

少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少、新型コロナウィルス感染症の影響拡大により、事業承継が課題として表面化してきていることから、課題解決に向け市内企業に対してセミナーを開催した。

個別相談会においては、相談企業の簡易株価シミュレーションをもとに具体的な数値を交えた相談を実施したことにより、承継のイメージが掴みやすかったと好評を得た。

実 施 日:令和5年3月9日(木)

テーマ:「円滑な資産承継のポイント」

講師: さくらみらい会計事務所

公認会計士・税理士 舟生 俊博 氏

参 加 者:7名 個別相談会:3名





(2) 産業人材の確保・育成事業の実施

ア 人材採用セミナーの開催

ものづくり企業総合支援事業において相談件数が増加傾向にあった人材採用の課題について、セミナーを開催した。特に多くの求職者が活用している求人検索エンジンの効果的な活用方法をテーマにセミナーを実施した。

セミナー参加者の募集にあたっては、申込期限前に定員に達したことから申 込受付を途中で締め切った。申込者は経営者だけでなく人事・採用担当者も多く、 中小事業者の課題に合致したセミナーとなった。

実施日:令和5年1月26日(木)

テーマ: 求人検索エンジン+採用方針明確化で、

採用コスト0(ゼロ)で自社にあった人材を獲得

講 師:中小企業診断士 須藤 慎 氏

参加者:19社21名





イ 人材育成等に係る事業への支援

相模原市及び株式会社さがみはら産業創造センターが事務局を務める「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」に対し、資金助成するとともに企画・実施面での協力・支援を行った。

実施日:令和4年8月11日(木)~13日(土) 計3日間

参加者:小学校 5~6年生 43名

会場:サン・エールさがみはら、アリオ橋本

ウ産業経済情報の提供

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構関東職業能力開発促進センター との共催により、生産性向上支援セミナーを実施した。

(ア)「業務効率向上のための時間管理」

実施日:令和4年6月24日(金)

講師:仁科 悦子氏(㈱インソース)

参加人数:19名

(イ)「後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割」

実施日:令和4年9月27日(火)

講師: 芳賀 哲氏((一社) 日本経営協会)

参加人数:11名

(ウ)「インターネットマーケティングの活用」

実施日:令和5年2月2日(木)

講師:飯田剛弘氏((一社)中部産業連盟)

参加人数:11名

(3) 国際化の促進や産業経済情報の収集・提供に関する事業の実施

ア 国際化の支援に関するセミナーの開催

Landing Pad Tokyo (LPT) と共催し積極的に海外展開を実施している日本企業 との交流を図る Mini Collision (小マッチング会)を開催した。また、カナダ 現地法人の紹介、オンタリオ州政府の日系企業誘致制度を紹介した。

LPT との情報交流は、毎週火曜日10時~11時

毎週金曜日 7時~ 8時の週2回

Mini Collision

| | 内容 | 企業 | 日付 |
|----|--|---------------------|----------------|
| 1 | パブリックリレーション | 井之上パブリックリ レーションズ | 令和4年 4月12日(火) |
| 2 | 自動溶接用ロボットシステムを 製作プロデュース | 三葉電熔社 | 令和4年 5月24日(火) |
| 3 | 静電気対策・異物対策 | TRINC | 令和4年 6月 7日(火) |
| 4 | 3代目の社長の数々の挑戦 | 極東精機製作所 | 令和4年 6月21日(火) |
| 5 | 自動包装機 | オリオン機械工業 | 令和4年 7月19日(火) |
| 6 | KTI 川田グループの成長、未来 | 川田テクノロジーズ | 令和4年 7月26日(火) |
| 7 | イスラエル・スタートアップ企 業との協業 | Million Steps | 令和4年 8月23日 (火) |
| 8 | 統計データに基づく解析 | 小川製作所 | 令和4年 9月13日(火) |
| 9 | イノベーションおよびグローバ ル化 | 大和合金 | 令和4年 9月20日 (火) |
| 10 | "危機"から生み出した新しいビ ジネス | 生方製作所 | 令和4年10月18日(火) |
| 11 | 沖縄科学技術大学(OIST)の紹介 | 沖縄科学技術大学 | 令和4年10月25日(火) |
| 12 | 折り工学 | OUTSENSE | 令和4年11月22日(火) |
| 13 | 可能性の種を生み出すコミュニ ティ"Scramble Society" | ShibuyaQWS | 令和4年12月 6日(火) |
| 14 | 次世代の自動車技術 | EVTD 研究所 | 令和5年 1月10日(火) |
| 15 | 新規事業開発(製品開発) | 合同会社あっち | 令和5年 1月17日(火) |
| 16 | チャージマーケティング | 営業製作所 | 令和5年 1月31日(火) |
| 17 | 製造ラインで役立つソフトウエ ア | 創造デザイン | 令和5年 2月 7日 (火) |
| 18 | アプリ開発 | Be-Conn Inc | 令和5年 2月14日(火) |
| 19 | 保険事業からの新規事業創造 | ライズコンサルティン グ | 令和5年 2月21日 (火) |

イ 海外事業活動支援助成金事業

市内中小企業の海外販路開拓をはじめとする事業活動に挑戦するための自 社Webページや多言語化パンフレット作成にかかる経費の一部を助成した。

助成実績

助成企業数 : 2社 助成金額合計:469千円

ウ 海外見本市出展助成事業

市内中小企業の海外進出を支援するため、海外で開催される見本市に出展する際の経費の一部を助成した。

展示会出展については、コロナ禍からの回復傾向にあるものの、出展申込期限が半年以上前であることや、準備期間を要することもあり、渡航制限緩和等の効果が表れていない。

助成実績

助成企業数 : 1社 (前年1社)

助成金額合計:100千円

(前年100千円 / 1社平均:100千円)

エ インターネット情報提供事業

財団Webページにより、財団事業の広報をはじめ、国、県等の施策、イベント・セミナー等の案内、地域の企業情報やビジネスニュース等市内の事業者に有益な産業関連情報を提供した。

また、月2回のメールマガジンを配信し、市や各産業支援機関等から提供される支援施策や各種イベント等に関する情報、地域のビジネス関連情報等を提供した。

さらに、フェイスブックページでは財団が主催するセミナーや各種イベントのお知らせの他、当日の実施風景や担当者のコメント等も掲載し、手軽な双方向のコミュニケーションツールとして活用し、より身近で親しみやすい情報を提供した。

(ア) Webページアクセス件数

年間アクセス数: 34,847件

(イ) さがみはら産業あるある情報

年間アクセス数:205,459件 登録事業所数: 1,796件 新 規 登 録: 39件 (ウ) メールマガジンの配信

配信回数:24回配信先数:1,124先

(エ) フェイスブックページの運営

情報の発信: 30件 年間閲覧数: 11,372件

(4) 創業及び新事業創出の支援に関する事業の実施

ア 創業・起業総合支援事業

創業を目指す、あるいは創業後間もない人などを対象に、個別相談会と創業に 必要な知識の習得のためのセミナーを開催し、相模原市における起業と起業後の 成長を支援した。

令和2年7月からオンライン形式のみで相談会を実施している。

(ア) 創業相談会((ウ) 特定創業支援事業(登録免許税軽減措置)対象事業)

相談実施回数 100回 (稼働率 69.4%、設定コマ数144回)

前年回数 102回(稼働率 66.7%、設定コマ数153回)

相談内容:事業化の可能性・事業計画、設立の手続き、資金調達・助成金等

実施委託:(株)コンセライズ





(イ) セミナーの開催

創業相談会の実施を委託する株式会社コンセライズの相談員(中小企業診断士)を講師とし、セミナーと相談会の連携による相乗効果を図った。

新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点より、集合形式によるセミナー 開催は困難なことから、オンライン形式で実施した。 特に今年度の新規事業である女性起業家のたまご応援セミナーにおいては、セミナー後にワークショップや交流会、事業化に向けたフォローアップのための個別面談を実施した。参加者同士の交流が図られただけでなく、創業に向けての課題や悩みを解決へと導くなど寄り添った支援を行った。

① 女性起業家のたまご応援セミナー

| | 内 容 | 実 施 日 | 参加者 |
|-----|-----------------|--------------|------|
| 第1回 | 経営・マーケティングの基本 | 令和4年7月 2日(土) | 2 2名 |
| 第2回 | プロモーション | 令和4年7月 9日(土) | 18名 |
| 第3回 | ホームページと SNS の活用 | 令和4年7月16日(土) | 18名 |
| 第4回 | 財務計画 | 令和4年7月23日(土) | 19名 |
| 第5回 | 販売・人材育成 | 令和4年7月30日(土) | 16名 |
| 第6回 | 相手に響く自社 PR | 令和4年8月 6日(土) | 15名 |





② 創業入門セミナー

| 内 容 | 実 施 日 | 参加者 |
|--------|----------------|------|
| | 令和4年 6月 4日(土) | 8名 |
| 事業の始め方 | 令和4年 9月 8日 (木) | 1 2名 |

③ 創業ピンポイントセミナー

| 内 容 | 実 施 日 | 参加者 |
|-------------------|---------------|------|
| 資金調達と補助金・助成金のポイント | 令和4年 8月27日(土) | 8名 |
| 会計と確定申告入門 | 令和4年11月26日(土) | 13名 |
| 動画作成 | 令和4年12月 1日(木) | 1 2名 |

④ 創業実践セミナー

((ウ) 特定創業支援事業(登録免許税軽減措置)対象事業)

| 内 容 | 実 施 日 | 参加者 |
|------------------------|---------------|-----|
| 経営マーケティングの基本 | 令和4年10月 6日(木) | 20名 |
| 顧客をつかむプロモーション | 令和4年10月13日(木) | 19名 |
| オンライン集客術ホームページと SNS 活用 | 令和4年10月20日(木) | 18名 |
| 避けては通れないお金の話財務会計 | 令和4年10月27日(木) | 19名 |
| 事業を進める販売・人材育成 | 令和4年11月 3日(木) | 18名 |
| 創業前の最終チェック相手に響く自社 PR | 令和4年11月10日(木) | 15名 |

⑤ 特別セミナー

| 内 容 | 実 施 日 | 参加者 |
|---------------|---------------|-----|
| プレゼンテーション基礎講座 | 令和5年 2月 8日(水) | 9名 |
| 交渉力アップ | 令和5年 2月15日(水) | 13名 |

⑥ 女性のための創業サロン

| 内 容 | 実 施 日 | 参加者 |
|-------------------|---------------|-----|
| オシャレインスタグラム画像の作り方 | 令和5年 1月28日(土) | 20名 |

(ウ) 特定創業支援事業(登録免許税の軽減措置) にかかる支援実績 市への報告書提出件数:15件

※ 次の申請要件を満たす場合、市が交付する証明書により会社設立時の 登録免許税軽減措置などの特例が適用されることから、この証明根拠 となる報告書を提出した。

<申請要件>

- ① 創業相談会に1カ月以上継続して4回以上参加した場合
- ② 創業実践セミナーに4回以上参加した場合
- ③ 創業相談会と創業実践セミナーを組合せて1カ月以上継続して4回以上参加した場合

イ SOHO支援事業

自宅等を仕事場として事業を行うSOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)事業者を対象としてた受発注機会の拡大や、情報提供等を行った。

(ア)「相模原SOHOスクエア」(業務受発注システム)の管理・運営 登録会員数:270名

OS会員(発注案件の発信) 31社

(イ)情報の提供

メールマガジン「SOHOスクエア事務局だより」の配信(7回)

(ウ) セミナー・交流会の実施

実施日:令和5年3月4日(土)

会 場:相模原市立産業会館 特別会議室、中研修室

講演:驚くほど仕事が取れる!

自己紹介とSNSプロフィールのつくり方

講 師:株式会社ゼロワン出版

代表取締役 鈴木 ケンジ 氏

参加者: 27名

ウ コミュニティビジネス推進事業

地域で抱える課題やニーズをビジネスの手法(有償サービス)により解決・実現していくコミュニティビジネスの普及・啓発や、起業の支援、育成を図るため相談会の開催や、セミナーの開催、情報交換や交流の場を提供した。

コミュニティビジネスには興味があるが、どういったものか知りたい方、相模 原市の地域資源を活用し、地域をもっと元気にしたいと既にコミュニティビジネスに取り組んでいる方々が参加した。

(ア)「CB相談会」(会場:財団事務所ほか)

開催回数:12回(毎月第3火曜日他)

相談件数:40件相談回数:60回

(イ) コミュニティビジネスに関する情報交換会

地域プロデューサーの育成に向けては、更なる広いネットワークづくりや連携が不可欠であることから、さがみはら地域プロデューサー養成講座の受講者を対象にした交流会を開催した。

タイトル: さがみはら地域プロデューサー交流会

実施日: 令和4年11月26日(土) 13:30~15:30

会 場:相模原市立産業会館 中研修室

参加者:参加者22名

(ウ) セミナーの開催

(1)さがみはら地域プロデューサー入門講座

実施日:令和4年9月17日(土)

会 場:相模原市立産業会館 特別会議室

講演:「楽しみながら、森をつなぐ」

講師:青木薫氏(合同会社Heritage Keeper代表)

講 座:「コミュニティビジネスの基礎知識と地域プロデューサーの役割」

講 師:久保 均 氏(岩手県アンテナショップ Natural Essay 代表)

参加者:27名

②さがみはら地域プロデューサー養成講座(6回シリーズ)

講 師: 久保 均 氏(岩手県アンテナショップ Natural Essay 代表)

会 場:オンライン (1、2回目)

相武台団地 ひばりカフェ (3回目)

相模原市立産業会館 中研修室(4、5、6回目)

参加者:合計21名(うち修了者16名)

| | 内 容 | 実 施 日 | 参加人数 |
|-----|---------------------|---------------|------|
| 第1回 | 地域プロデューサーの役割を学ぶ | 令和4年10月 1日(土) | 2 3名 |
| 第2回 | 地域資源と活かし方を学ぶ〔資源の活用〕 | 令和4年10月15日(土) | 21名 |
| 第3回 | コミュニティカフェの見学 〔見学〕 | 令和4年10月22日(土) | 19名 |
| 第4回 | 持続可能な仕組みをつくる〔仕組づくり〕 | 令和4年10月29日(土) | 17名 |
| 第5回 | 思いを整理し、アイデアを具体化する | 令和4年11月12日(土) | 20名 |
| 第6回 | プレゼンテーション〔発表〕 | 令和4年11月26日(土) | 2 3名 |

第2回ゲスト講師:(公社) 相模原市観光協会 事務局次長 小野澤 美那氏

「相模原の観光資源を紹介」

第3回ゲスト講師:相武台団地「ひばりカフェ」 佐竹 輝子 氏

「活動の現場から、地域への思いと地域とのつながりを学ぶ」

第5回ゲスト講師: komina_ya 古屋 菜美子 氏

「チラシ作りのポイントを学ぶ」





(エ) コミュニティビジネス情報交換・交流サロン「CoCoサロン」 コミュニティビジネス事業者やアイデアを持っている人、サポートしたい 人など、コミュニティビジネスに関心のある人たちの情報交換や交流の場。

実施日:令和4年7月2日(土)

会 場:相模原市立産業会館 中研修室

内容:市内活動団体の理解を深め、事業アイデアや運営手法を学ぶ

ゲスト: 古屋 菜美子 氏 (komina_ya 代表)

参加者:13名

実施日:令和5年2月25日(土)

会 場:相模原市立産業会館 中研修室

内 容:市内活動団体の理解を深め、事業アイデアや運営手法を学ぶ

ゲスト:藤村 千佳 氏 (ヨロコビ kitchen 代表)

参加者:18名

(オ)情報の提供

- ① オンラインサイトによる情報発信
- ② メールマガジンの配信(4回、登録先数 271先)

- ③ LINE Business (7回、登録先数 28先)
- ④ フェイスブックによる発信(44回)

(5) 地域経済の振興に関する事業の実施

ア 産業会館運営事業

令和元年度から5年間の指定管理者の指定を受けた相模原市立産業会館の運営においては、会館施設設備の貸出業務と設備保守、警備、清掃業務等を行い、施設の利用促進と、良好な利用環境の維持を図った。

また、新型コロナの感染防止のため、消毒や換気を継続的に実施し、安全で安心した利用環境の提供に努めた。

令和4年度はプログラムコンテストや親子プログラミング教室を内容とする 産業会館まつりを開催し、産業会館の市民への周知の機会となった。利用料金 収入においては、コロナの影響が少なかった令和元年度を上回ることが出来た。

なお、令和4年度は、新型コロナウィルス感染症の影響による貸館の休止や時間短縮の利用制限は実施されなかった。

| | 令和3年度 | 令和4年度 | 増減 |
|-------|-----------|----------|-----------|
| 利用率 | 38.5% | 41.1% | 2. 6ポイント増 |
| 利用人数 | 51,051人 | 70,641人 | 19,590人増 |
| 利用料収入 | 15, 185千円 | 20,221千円 | 5,036千円増 |

* (参考) 令和元年度:利用率42.3%。利用料金収入18,406千円

イ さがみはらの銘菓・名産品

財団オンラインサイトの「相模原の銘菓・名産品」サイトを運営し、市内で 製造・販売される特色ある食品等、銘菓名産品の情報を発信した。

令和4年度末 紹介登録件数:47件

ウ 地域企業情報の発信

相模原市内を中心に企業動向や地域の産業・経済に関する情報をかながわ経済新聞の協力により、「地域企業情報」として財団のオンラインサイト上で発信した。

令和4年度の発信件数:14件

2 役職員に関する事項

(1)役員等の異動(敬称略)

| 異動年月日 | 役 職 | 就 任 | 退任 |
|------------|-----|-------|--------|
| 令和4年 6月22日 | 理事 | 菊地原 央 | 若林 和彦 |
| 令和4年 6月22日 | 評議員 | 藤井 一洋 | 鈴木 由美子 |
| 令和4年11月29日 | 評議員 | 長谷川 伸 | 梅澤 道雄 |

(2) 役員名簿(令和5年3月31日現在)

| 役職 | 氏 名 | 現職等 |
|------|--------|--------------------------------------|
| 理事長 | 杉岡 芳樹 | 相模原商工会議所 会頭 |
| 常務理事 | 谷 圭介 | 公益財団法人相模原市産業振興財団 常勤役員 |
| 理事 | 菊地原 央 | 相模原市 環境経済局参事(兼)産業支援課長 |
| 理事 | 山口 伸治 | 大島機工㈱ 代表取締役社長 |
| 理事 | 依田 真美 | 相模女子大学大学院社会起業研究科 教授 |
| 理事 | 橋元雅敏 | (株)さがみはら産業創造センター 代表取締役社長 |
| 理事 | 宮川 日出男 | ㈱東京きらぼしフィナンシャルグループ 連携推進部公共連携推進室室長 |
| 監事 | 天野 俊裕 | 天野俊裕税理士事務所 代表 税理士 |
| 監事 | 熊坂 誠 | 公益財団法人相模原市まち・みどり公社 常務理事 |

(3) 評議員名簿(令和5年3月31日現在)

| 氏 名 | 現職等 |
|--------|----------------------------|
| 藤井 一洋 | 相模原市 環境経済局長 |
| 長谷川 伸 | 相模原商工会議所 専務理事 |
| 久保 誠 | (株オーエイ 代表取締役社長 |
| 北澤 芳恵 | (株ユウキ工業 代表取締役社長 |
| 中村 太郎 | ㈱中村書店 専務取締役 |
| 池田 亨 | (㈱横浜銀行相模原駅前支店 支店長 |
| 中臺博 | フードコミュニティ 代表 |
| 大内 紀知 | 青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 |
| 石井 トシ子 | 特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら 代表理事 |

(4) 事務局(令和5年3月31日現在)

| | 職 | 員 | 3名 |
|-------|-----|---|-----|
| 嘱託職員 | | 員 | 7名 |
| | 契約職 | 員 | 4名 |
| | 臨時職 | 溳 | 14名 |
| 計 | | | 28名 |

3 理事会・評議員会

(1) 理事会

| 口 | 開催日 | 理 事現在数 | 出席者数 | 議決事項等 |
|-------------|-------------------|--------|-------------------------|---|
| 第 1 回 | 令和4年 5月31日 (火) | 7名 | 議決権行使者数: 5名 監事:2名 | 議案第1号 令和3年度事業報告及び決算について 議案第2号 理事候補の推薦について 議案第3号 評議員候補の推薦について 議案第4号 定時評議員会の招集について |
| 第 2 回 | 令和4年 6月22日(水) | 7名 | みなし決議 | 議案第1号 代表理事1名の選定の件 議案第2号 常務理事1名の選定の件 |
| 第 3 回 | 令和4年 11月8日 (火) | 7名 | 議決権行使者数: 5名 監事:1名 | 議案第1号 評議員候補の推薦について 議案第2号 評議員会の招集について 報告事項1 令和4年度上期業務報告について 報告事項2 中期経営計画(令和5年4月~令和8 年3月)(案)について |
| 第4回 | 令和5年 3月28日 (火) | 7名 | 議決権行使者数: 5名 監事:2名 | 議案第 1号 中期経営計画(令和5年4月~令和8年3月)の策定について 議案第 2号 令和5年度事業計画及び収支予算 (案)について 議案第 3号 職員給与規程の一部改正(給料月額の一部改正)について 議案第 5号 正職員就業規程の制定について 議案第 6号 嘱託職員就業規程の一部改正について 議案第 7号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第 8号 臨時職員就業規程の一部改正について 議案第 10号 職員給与規程の一部改正について 議案第10号 職員給与規程の一部改正について 議案第11号 職員退職手当支給規程の一部改正について 議案第13号 役員の報酬及び評議員、役員の費用 弁償に関する規程の一部改正について 報告事項1 令和4年度下期業務報告について |

(2) 評議員会

| 口 | 開催日 | 評議員 現在数 | 出席者数 | 議決事項等 | |
|-------------|-------------------|------------|----------------------------------|----------------|---|
| 第 1 回 | 令和4年 6月22日(水) | 9名 | 議決権行使者数: 7名 監事:2名 理事:2名 | 議案第2号 議案第3号 | 令和3年度事業報告及び決算について 理事の選任について 評議員の選任について 令和4年度事業計画及び収支予算につ いて |
| 第 2 回 | 令和4年 11月29日(火) | 9名 | 議決権行使者数: 8名 監事:1名 理事:2名 | | 評議員の選任について 令和4年度上期業務報告について 中期経営計画(令和5年4月~令和8 年3月)(案)について |

4 その他の取組

・自主財源の確保に向けた取組

財団は市からの補助金等を活用し、地域経済の発展に向けた事業を実施しているものの、財源は限られていることから、事業のさらなる拡充と、安定的な運営体制を確保するため、企業の訪問面談時に積極的に寄付制度を紹介した。

5件 180,000円

附属明細書

令和4年度事業は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34 条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。